

# GIL SHAHAM

ギル・シャハム



## VIOLIN RECITAL

ヴァイオリン・リサイタル

クライスラー: プニャーニの様式による前奏曲とアレグロ  
Kreisler: Praeludium and Allegro (In the style of Pugnani)

プロコフィエフ: 5つのメロディ op. 35  
Prokofiev: 5 Melodies op. 35

フランク: ヴァイオリン・ソナタ イ長調  
Franck: Violin Sonata in A major

J.S.バッハ: 無伴奏ヴァイオリン・パルティータ第3番  
ホ長調 BWV1006

J.S.Bach: Partita for Violin solo No. 3 in E major BWV1006

サン=サーンス: 序奏とロンド・カプリチオーソ op. 28  
Saint-Saëns: Introduction and Rondo Capriccioso op. 28

ドルマン: ヴァイオリン・ソナタ第3番「ニグン」  
Dorman: Nigunim (Violin Sonata No. 3)  
\*2011年にシャハムによって初演

2018年

6/24(日)14時

紀尾井ホール

Sunday, June 24, 2018 at 2 p.m.  
Kioi Hall, Tokyo

S¥9,000 A¥7,000

©Luke Ratray



©kunihiisa kobayashi

ピアノ: 江口 玲  
Akira Eguchi, Piano



# 自由闊達、ギル・シャハム — 現代最高のひとり、久々のソロ・リサイタル!

今、50歳前後のヴァイオリニストたちが充実している。それも極めて。

F.P.ツィンマーマン(1965年生)、C.テツラフ(66年生)、L.カヴァコス(67年生)、そしてこのギル・シャハム(71年生)。4人とも今や「アラフィフの」という言葉なしでも十分「現代最高のヴァイオリニスト」と言っていじらう。そして彼らは皆、10代からすでに世界第一線で活躍してきた演奏家たちだ。今も変わらず彼らが立つステージは世界中の主要音楽都市のそれであり、ベルリン・フィルやコンセルトヘボウ管、ボストン響やゲヴァントハウス管などと共演を続けている。

この中で少しだけ若いシャハムはイスラエルに育ち、ユダヤ系の正統として大先輩のスターンやパールマンらの後を継ぐ。もちろん彼らを一括りにするのも野暮というもので、シャハムはシャハム。彼の個性的刻印がどんな時でもある。それがどんなものかといえば、素直で爽やか、自然な美音と音楽の流れ、どんな難しそうな曲でもさらっと弾けてしまう。努力なんか必要ないみたいに。いや、そんな筈はなく、シャハムはむしろ音楽に対して人一倍真摯であり、全力で努力する人だ。でもそんな努力が表には見えない。音楽はシャハムの中から泉のようにこんこんと湧き出て、色を刻々と変え陰影を宿しながら流れてゆく。ここ数年を思い返しても、コンセルトヘボウ管やボストン響での来日公演で弾いた協奏曲における、闊達にして美しい自由な演奏や、J.S.バッハの無伴奏曲での、多声部が自然に折り重なり、立体的な音空間から厳粛な祈りが漂ってくるさまなど、感銘深いことばかり。シャハムは変わらない。しかし今は幅と厚みがうんと加わっているのだ。

そうして今回の演奏曲目も、これはもうシャハムが弾いたら、という音楽ばかり。ピアノが長くパートナーを務める盟友の江口玲であれば、もはや楽しみしかない。

(A)



©Luke Ratray

## Gil Shaham, Violin ギル・シャハム(ヴァイオリン)

完璧なテクニックと、比類ない優しさと高潔さ、寛大さを併せ持つ、現代で最も傑出したヴァイオリニストの一人。1971年、アメリカのイリノイ州生まれ。イスラエルに移住し、1981年エルサレム響およびイスラエル・フィルとの公演でデビュー。以後現在に至るまでベルリン・フィルやコンセルトヘボウ管をはじめ世界中の名だたるオーケストラや指揮者と共演している。昨秋ネルソンス指揮ボストン響と日本公演で共演したメンデルスゾーン協奏曲の演奏は忘れがたい印象を残した。「1930年代のヴァイオリン協奏曲」プロジェクトを長く続けており、シカゴ響やフィラデルフィア管とバルトークやバーバーなど、膨大な数の協奏曲を弾き、2004年に自ら立ち上げたCanary Classicsにも録音している。ほかにもJ.S.バッハの無伴奏曲集などのCDがある。現代音楽にも力を入れ、今回弾くドルマンや、W.ボルコムやD.ブルースらの新曲を初演。使用楽器は1699年製ストラディバリウス「ポリニャック伯爵夫人」。



©小林邦寿

## Akira Eguchi, Piano 江口玲(ピアノ)

東京藝術大学作曲科、ジュリアード音楽院ピアノ科大学院修士課程とプロフェッショナルスタディを卒業。その後、欧米や日本をはじめとする各国でのリサイタルや室内楽、協奏曲のほか、シャハム、諏訪内晶子、竹澤恭子、A.A.マイヤースら、数多くのヴァイオリニストと定期的に共演。数多くのレコーディングでも高い評価を得ている。現在は東京、ニューヨークと二つの拠点を行き来し、国際的な活動を続け、作曲・編曲者としても実力を備えた大胆な解釈と表現技法で国内外を問わず活躍している。現在、洗足学園音楽大学大学院客員教授。東京藝術大学准教授。

CANARY CLASSICS

## カナリー・クラシックス 名演集

CANARY CLASSICSとは

2003年に創設されたギル・シャハムが主宰するレーベル。レーベル名のCANARYには、鳥の「カナリア」と、ヘブライ語のヴァイオリニストを表す単語「CANAR」の2つの意味が込められています。

J.S. バッハ:

無伴奏ヴァイオリンのためのソナタとパルティータ

演奏予定曲



名手ギル・シャハム、渾身のバッハ。30年以上も作品を研究し、10年以上に渡って実際にコンサートで演奏を重ねた上で臨んだ録音です。極意を掴んだ完璧な演奏をご堪能ください。

録音 2014年 / 商品番号 CC-142枚組

プロコフィエフ:

ヴァイオリンとピアノのための作品集

演奏予定曲



2曲のソナタをメインに、「ロメオとジュリエット」や「3つのオレンジへの恋」の行進曲、メロディなど楽しい小品を挟んだアルバム。シャハムは多彩な曲を鮮やかに弾き分けています。

録音 2004年 / 商品番号 CC-02

ドルマン:

ヴァイオリン・ソナタ第3番「ニグン」他

演奏予定曲



イスラエル出身のシャハムが強く愛着を抱くユダヤの民族音楽を元にした作品集。郷愁と悲しみに溢れた旋律が心に残ります。「シンドララーのリスト」も収録。

録音 2011年 / 商品番号 CC-10

ギル・シャハム & 江口玲 共演作品 | フォーレ: ヴァイオリン・ソナタ第1番/編曲集【商品番号 CC-03】 | サラサテ: ヴァイオリン超絶技巧作品集【商品番号 CC-07】

お問い合わせ ● ナクソス・ジャパン株式会社 www.naxos.co.jp 03-5486-5101(代表)

※価格はオープンプライス

## チケットのお申込み

カジモト・イープラス

検索

www.kajimotoeplus.com

カジモト・イープラス 0570-06-9960

※オペレーター対応(10:00~18:00)

ホームページからお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。

チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード: 108-467)

e+(イープラス) http://eplus.jp/

CNプレイガイド 0570-08-9990

ローソンチケット 0570-000-407

紀尾井ホールチケットセンター 03-3237-0061

twitter @kajimoto\_News

facebook  
YouTube YouTube

“kajimotomusic”で検索!

@kajimotomusic

便利なケータイサイトもぜひご利用ください。  
iモード・EZweb・Yahoo!ケータイ 対応  
チケットもご購入いただけます。

カジモト・イープラス



一般発売:  
2/17(土) 10:00~

●やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承願います。  
●未就学児のご入場はご遠慮いただいております。  
●団体料金のある公演もございます。詳しくはお問合せください。